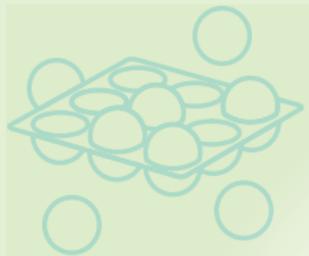


第69期 株主通信

2014年4月1日から2015年3月31日まで

ロジスティクスに最適解を
大石産業株式会社

証券コード：3943



企業理念



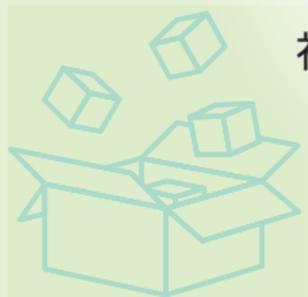
常に新しく価値ある商品・サービスを提供する

働きがいのある豊かな生活を実現する

成長分野で、優れた業績を約束する

社会と地域に有用な存在となる

地球環境の保全に貢献する



CONTENTS

TOP MESSAGE	2
営業の概況	3
連結業績ハイライト	5
主要連結財務データ	6
セグメント情報	7
TOPICS	9
次期の見通しと配当について	11
株式の概況	12
会社の概況	13



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2015年3月31日をもって、第69期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大久保 則夫**



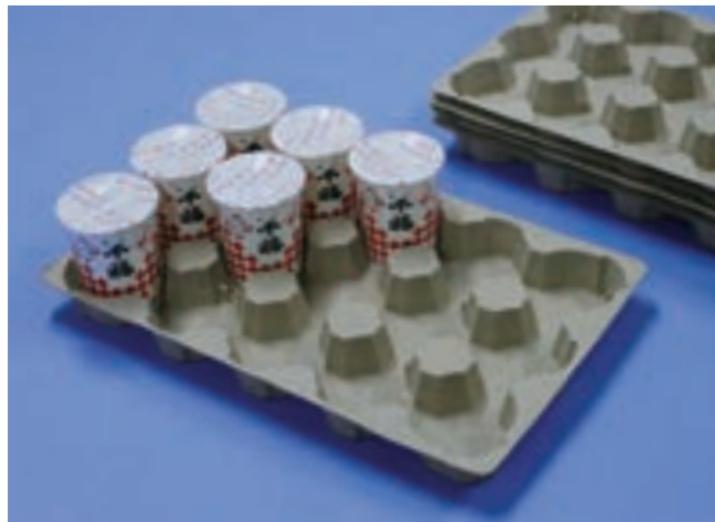


営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費の減退はあったものの、政府や日銀の経済・金融政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、中国や新興国経済の成長鈍化や円安による原材料の高騰など、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、提案営業による顧客満足を徹底的に追求するとともに、環境配慮型の製品開発を推進し業績向上に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の売上高は178億64百万円（前連結会計年度比0.9%減）となり、営業利益5億74百



新製品 千福トレー

株式会社三宅本店様の日本酒銘柄「千福Vパック」の輸送用トレーとして当社パルプモールド製品が採用されました。

万円(同21.2%減)、経常利益7億97百万円(同15.6%減)、
当期純利益5億5百万円(同16.0%減)となりました。

なお、期末配当につきましては、創業90周年記念配当
2円を含め、1株につき10円50銭とさせていただきました。

今後の見通しにつきましては、政府や日銀の各種政策に
よる雇用や所得環境の改善が続くなかで、原油価格下落の
影響もあり、回復基調が続くものと期待されるものの、
引き続き海外景気の下振れリスクなどもあり不透明な
状況が続くものと推測されます。

このような状況下、当社グループは、提案営業による
顧客満足をより一層追求するとともに、環境配慮型の製品
開発を推進し業績向上に努めてまいります。

売上高
17,864百万円
(前期比0.9%減)

営業利益
574百万円
(前期比21.2%減)

経常利益
797百万円
(前期比15.6%減)

当期純利益
505百万円
(前期比16.0%減)

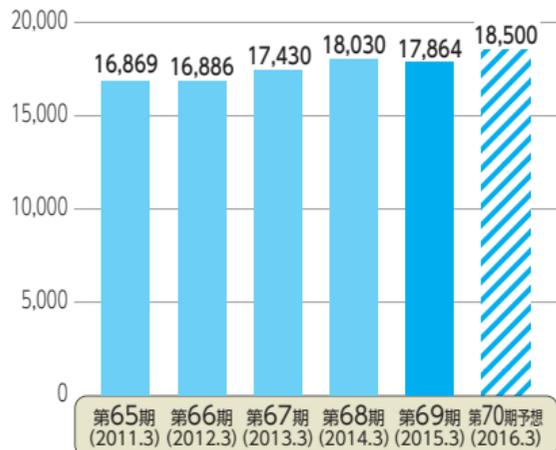


決算のポイント

- 売上高については、青果物の収量減や消費不振等による緩衝機能材の減少により減収となりました。
- 営業利益・経常利益については、減収に加え原材料費・電力料等が前期に引き続き増加したため減益となりました。

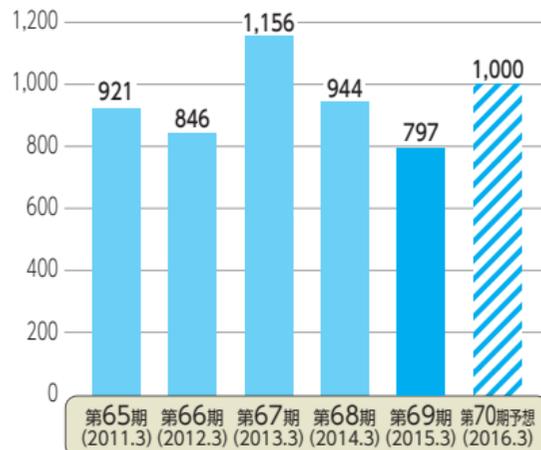
売上高

(百万円)



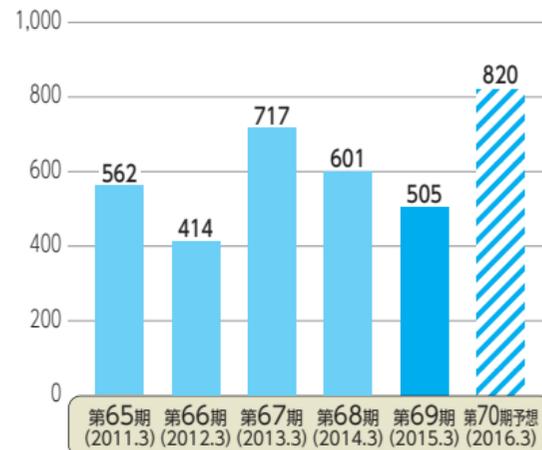
経常利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)





主要連結財務データ

科 目	第65期 (2011.3)	第66期 (2012.3)	第67期 (2013.3)	第68期 (2014.3)	第69期 (2015.3)
売上高(百万円)	16,869	16,886	17,430	18,030	17,864
営業利益(百万円)	704	612	908	728	574
経常利益(百万円)	921	846	1,156	944	797
当期純利益(百万円)	562	414	717	601	505
設備投資額(百万円)	479	725	772	1,284	1,092
総資産(百万円)	15,597	15,943	16,641	18,359	18,897
純資産(百万円)	9,420	9,572	10,176	10,524	11,319
1株当たり当期純利益(円)	65.32	48.18	84.85	73.47	63.00
1株当たり純資産額(円)	1,094.82	1,119.95	1,214.93	1,309.97	1,410.91



緩衝機能材事業

売上高 **79**億**93**百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、畜産分野では季節により増減はありましたがほぼ前年並みとなりました。農業分野では春先のりんご収量減の影響で減収となりました。工業品分野では事務機器や医療機器向けで増収となったものの、消費材向けで減収となり同分野では減収となりました。

段ボール部門は、工業分野では建築・食品関連分野が堅調に推移しましたが、出荷形態の変更による需要減少等により前年並となりました。農業分野では秋以降の野菜や果樹類は堅調に推移しましたが、春先の消費低迷や畜産関連の消費不振による需要減少の影響で減収となりました。

この結果、当事業の売上高は79億93百万円(前連結会計年度比2.5%減)となり、セグメント利益は6億64百万円(同9.5%減)となりました。

●主要製品紹介

【パルプモールド】

パルピー i

古紙100%のリサイクル鶏卵パックです。卵が更に割れにくいパルピー i はご好評をいただいています。



【段ボール】

大型段ボール

大型の段ボールも製造・販売しています。お客様の用途に合わせてご利用いただけます。



包装機能材事業

売上高 **93億31** 百万円

営業の概況

樹脂部門は、PSフィルムは食品容器向けと新分野向けに積極的な拡販と機能提案を強化したことで増収となりました。キャストフィルムは衛生材料向けが堅調に推移し増収となり、フィルム全体では増収となりました。樹脂袋は新規拡販に努めたものの、肥料需要の減少により減収となりました。

紙袋部門は、国内では需要の減退がみられたものの、提案営業、技術サービスによる顧客満足向上に取り組んだ結果、増収となりました。海外ではラミネート製品製造の合併会社であるマレーシア国ENCORE LAMI SDN.BHD.製の材料活用、提案営業による新規顧客獲得や既存顧客拡販に努めて参りましたが、中国経済減速と東南アジア需要低迷の影響による販売減少が響き、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は93億31百万円(前連結会計年度比0.8%増)となり、セグメント利益は7億45百万円(同11.5%減)となりました。

●主要製品紹介

【フィルム】

食品容器用フィルム

スーパー、コンビニエンスストアなどで利用されているポリスチレン容器の美粧化、強度向上のため、ポリスチレンフィルムが使用されています。



【重包装袋】

合成樹脂・肥料用袋

合成樹脂・肥料用等で活用されています。お客様のご要望に合わせて単層・多層フィルムのご提案を行っています。





デュポン・シンガポール様からの表彰

デュポン・シンガポール様は、20年以上取引が続いているお客様で、海外子会社のコア・パックスが生産した工業用紙袋を納入しています。

同社のサプライヤー評価システムにおいて、2011年から3年間の当社の品質、サービス等が総合的に評価され「優秀サプライヤー」として表彰を受けました。デュポン・シンガポール様は、同社グループのエンジニアリング・ポリマー事業において、アジア地域の中核に位置づけられる会社であり、今回の受賞は大変価値があるものです。

今後も、製品の安定供給と更なる高品質化に努め、お客様の信頼に応えてまいります。



デュポン・シンガポール様からの表彰状

段ボール北九州工場に最新設備を導入

段ボール北九州工場では、大型の印刷・製函機械を導入し、本年1月より本稼働を開始いたしました。

この最新設備では、従来では半自動や手加工を含む複数工程を経て生産していた大型ケースを、フルオートで高速に、1工程で生産出来るようになりました。

今後も更なる改善を行うことによりコストダウンを進め、高精度・高品質な大型ケースを武器に精力的な拡販を行うと同時に、お客様満足度向上に努めてまいります。



段ボール最新設備導入



次期の見通しと配当について

●次期の見通し

各事業区分別の取り組みは以下のとおりであります。

①緩衝機能材事業

- 新製品開発と新機能研究および収益体制の強化
- 新機能・新製造設備開発による農畜産分野、工業品分野、小売含めた商業分野への拡販
- 地域密着営業と総合包装提案による顧客満足向上
- 品質向上と生産性の継続的改善によるコストダウン

②包装機能材事業

- コーティング製品拡販および新機能フィルムの製品開発と市場開拓
- 新技術による品質および生産性の向上と提案営業による顧客満足向上
- ENCORE LAMI SDN.BHD.の安定操業およびCORE PAX(M)SDN.BHD.の原料コスト競争力強化

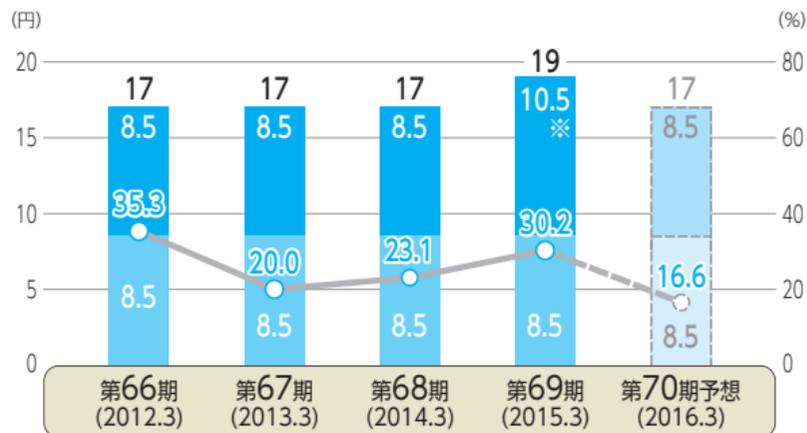
●第70期(2016年3月期)予想

売上高	18,500	百万円	(前期比 3.6%増)
営業利益	800	百万円	(前期比39.3%増)
経常利益	1,000	百万円	(前期比25.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	820	百万円	(前期比62.3%増)

●配当政策

当社グループは、株主様重視の配当の実施を基本方針としており、生産性の向上等による利益体質の強化を図りながら、安定的に配当を実施する所存であります。

1株当たり配当金(■期末配当 ■中間配当)(左軸) ○配当性向(右軸)



*創業90周年記念配当2円を含む。



株式の概況

●株式の状況 (2015年3月31日現在)

(1) 発行済株式の総数 9,328,000株 (自己株式含む)

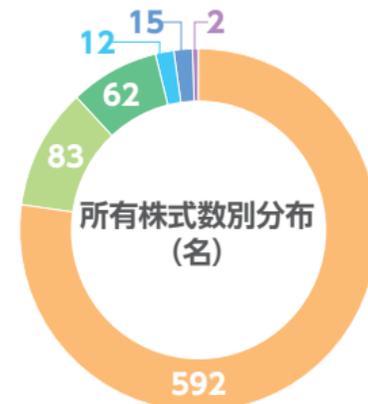
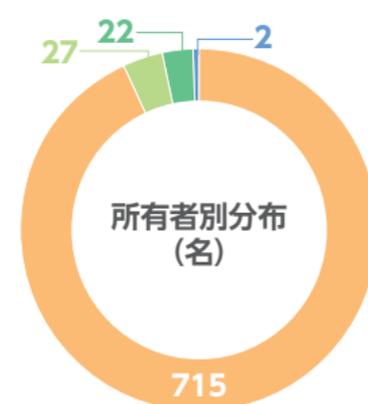
(2) 株主数 766名

(3) 大株主

株主名	持株数	持株比率
中村泰子	709千株	8.85%
OSK社員持株会	470千株	5.86%
王子ホールディングス株式会社	463千株	5.78%
三井住友海上火災保険株式会社	446千株	5.56%
株式会社西日本シティ銀行	378千株	4.72%
株式会社福岡銀行	373千株	4.66%
株式会社北九州銀行	351千株	4.38%
伊藤忠紙パルプ株式会社	309千株	3.85%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	215千株	2.68%
日本生命保険相互会社	173千株	2.16%

(注) 持株比率は自己株式(1,308千株)を控除して計算しております。

(4) 株式分布状況



- 個人・その他 715名 (93.3%)
- その他の法人 27名 (3.5%)
- 金融機関 22名 (2.9%)
- 外国法人等 2名 (0.3%)

- 5千株未満 592名 (77.3%)
- 5千株以上 83名 (10.8%)
- 1万株以上 62名 (8.1%)
- 5万株以上 12名 (1.6%)
- 10万株以上 15名 (1.9%)
- 50万株以上 2名 (0.3%)



● 会社の概要 (2015年3月31日現在)

称 号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設 立	1947年2月3日
資 本 金	4億6,640万円
営 業 所	北海道／青森／茨城／東京／福岡／大分／ 熊本／長崎／シンガポール
工 場	青森、茨城、福岡
従 業 員 数	346名(グループ541名)

連結子会社(2015年6月25日現在)

株式会社アクシス	大連大石包装有限公司
CORE PAX(M) SDN.BHD.	ENCORE LAMI SDN.BHD.

取締役および監査役(2015年6月25日現在)

代表取締役会長	中 村 英 輝
代表取締役社長	大久保 則 夫
常務取締役	久 継 雅 夫
取 締 役	田 中 英 雄
取 締 役	高 田 圭 二
取 締 役(社外)	長 門 博 之
常 勤 監 査 役(社外)	宮 地 郁 夫
監 査 役(社外)	川 本 惣 一
監 査 役(社外)	福 地 昌 能

コーポレートガバナンス向上のため、社外取締役を1名増員しました。

大石産業グループ拠点マップ



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL http://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	福岡
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求は、インターネットでもお受け付けております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンタで印刷できます。)

大石産業株式会社

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
TEL.093-661-6511 FAX.093-661-1641
<http://www.osk.co.jp/>
平成27年5月、ホームページをリニューアルしました。